

平成18年6月30日

愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター

担当 応用技術室 山田、稲垣

電話 0561-21-2116、2117

愛知県産業労働部地域産業課技術振興

調整グループ

担当 来住南(きすな)、村上

電話 052-954-6340

(内線 3360、3361)

「陶&くらしのデザイン展2006」の本展が、 瀬戸蔵（瀬戸市）で開催されます。

— 全国の公的試験研究機関の成果・試作品を一堂に展示 —

全国の陶磁器に関係する公的試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集め、一般に公開展示する「陶&くらしのデザイン展2006※¹」本展※²が、7月13日から17日までの5日間、瀬戸蔵（瀬戸市）で開催されます。本展は、全国の巡回展に先だって行われるもので、これまで主に名古屋市内で開催されてきましたが、産業振興の観点から、今回初めて瀬戸市で開催されることとなりました。

今回の本展では、陶磁器を中心とした食器やインテリア用品などの成果品320点あまりが全国に先駆けて展示されるのに加え、瀬戸焼のテーブルコーディネート作品の展示や講習会など、巡回展では見ることが出来ない併催行事も開催され、専門家はもとより一般の方にも楽しんでいただけるイベントとなっています。

なお、この本展には、愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター、同常滑窯業技術センターからも最新の成果を出展します。

【展示会の概要】

1 名称

陶&くらしのデザイン展2006

2 展示内容

陶磁器を中心として、木、漆などの素材も活用した食器、食卓用品、インテリア・エクステリア用品等の試作品やデザイン提案（開発コンセプトや製品アイデア）など、全国の公的試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と協力して開発してきた成果品、約320点。

3 参加機関

全国の陶磁器に関係する公的試験研究機関 17機関

4 会期

平成18年7月13日（木）から7月17日（月・祝）までの5日間
午前10時から午後6時まで

5 会場

瀬戸蔵（4階多目的ホール）

〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1 電話 0561-97-1555

6 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム※3

7 共催

瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会、
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

8 入場料

無料

【出展される成果、試作品について】

人や環境に優しいものづくりや地域ブランドの確立といった意識が高まりをみせる中、各地の公的試験研究機関では、それぞれの産地が目指すべき技術課題や開発テーマなどを取り上げ、具体的なデザイン提案や試作を行っています。

今回出展される成果、試作品の特徴はおおよそ次のとおりです。

- ・多孔質セラミックスや光触媒機能を使った環境浄化用製品や陶磁器のリサイクル技術
- ・ユニバーサルデザインの考え方により開発した使いやすい食器
- ・産地固有の素材や技術、文化・風土をテーマとしてデザイン
- ・コンピュータを使った新しい生産技術や異素材を活用した製品開発研究 など

【愛知県産業技術研究所の出展内容】

- ・リサイクル磁器と中火度釉薬のためのパイロットデザイン
(瀬戸窯業技術センター)

愛知万博でも話題を呼んだ再生陶磁器（Re瀬戸）のデザイン性を向上させて付加価値を高めるため、新しい釉薬（中火度焼成可能な結晶釉など）を開発しました。今回は、この釉薬を活用したインテリア時計や、ランプスタンド、ボンボン入れなどの試作品を出展します。

- ・伝統技法を活用した新製品開発（常滑窯業技術センター）

茶器や大物のつぼなど、常滑地区に伝わる伝統技法を用いて、中部国際空港や常滑市内のやきもの散歩道で販売する土産品や、県内の温泉つき保養施設で使う陶器製浴槽の湯口などを出品します。



インテリア時計（瀬戸）



陶器製浴槽の湯口（常滑）

【併催行事】

1 瀬戸焼を使ったテーブルコーディネート作品の展示

- (1) テーマ：『スローライフ・スローフードが誘うテーブル奇譚～伊勢物語から～』
- (2) コーディネータ：福田典子※4 氏
- (3) 会期：平成18年7月14日（金）～17日（月・祝）
- (4) 会場：瀬戸蔵（エントランスホール）
- (5) 入場料：無料

2 講演会

- (1) 内容：上記テーブルコーディネート作品のコンセプトを解説します。
- (2) 講師：福田典子 氏
- (3) 日時：平成18年7月14日（金）午後1時30分から3時30分まで
- (4) 会場：瀬戸蔵（4階 第4、第5会議室）
- (5) 定員：35名（事前申込み：先着順）
- (6) 受講料：無料
- (7) 受講申込み及び問合せ先

瀬戸市交流活力部産業課 電話（0561-88-2651）

※電話にてお申込み下さい。定員になり次第締め切ります。

昨年度の会場風景
(陶&くらしのデザイン展2005瀬戸展：17年11月)



【参考】

※1 陶&くらしのデザイン展について

この展示会は、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性に寄与している姿を実感してもらうことを目的に、昭和38年に陶磁器試験研究機関 作品展として発足し、その後、陶&くらしのデザイン展へと名称が変更になりました。今回は、通算で43回目の開催となります。

展示会には、毎回、斬新なデザイン提案や各産地の実情に即した新しい陶磁器製造技術などが紹介されることから、関係業界はもとより焼物に興味を持つ消費者からも大きな注目を集めています。例えば、去年は、愛・地球博で話題を集めたエコマネー「陶貨」が初めて公開されて反響を呼びました。

※2 本展示と巡回展について

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されています。

本展は、第1回目の展示会であるのに加え、講習会などの併催行事や公的研究機関のデザイン関係職員が意見交換を行う協議会が開催される規模の大きなイベントです。

巡回展は、本展開催後に全国を巡回する展示会で、今回は7月から11月にかけて、常滑、四日市、岐阜、京都など、全国の窯業地お6カ所を巡ります。

なお、本展が瀬戸で開催されるのは、前身の陶磁器試験研究機関作品展時代を含め、今回が初めてです。(これまでは主に名古屋市内で開催)

※3 陶&くらしのデザインコンソーシアムについて

陶磁器、ガラス、金属、紙などの素材を活用した、くらしに関わる用品のデザインや製造技術に関する情報発信、技術交流を目的に、平成17年に(独9産業技術総合研究所が中心となって、全国の主な窯業地の公的研究機関や業界団体(全国21機関)が組織したコンソーシアム(共同事業体)で、デザイン展の開催や研究発表などを行

っています。

東海三県では、以下の研究機関が参加しています。

- ※ 愛知県産業技術研究所常滑窯業技術センター、同瀬戸窯業技術センター
岐阜県セラミックス研究所、多治見市陶磁器意匠研究所、
土岐市陶磁器試験場
セラテクノ土岐、瑞穂市窯業技術研究所
三重県科学技術振興センター工業研究部窯業研究室

※4 福田典子（ふくだのりこ）氏のプロフィール

- ・料理飲料ディレクター/テーブルプランナー（東京在住）
- ・DOLCE VITA 株式会社代表取締役
- ・ホテルのレストランやウェディングのプロデュースを中心にテレビ出演、講演、雑誌連載等幅広く活躍中。
- ・1982年 明治学院大学 社会部卒業 セツ・モードセミナー卒業 渡仏
- ・1998年 台湾で日本人初の中国茶講師資格を授与
- ・2001年 照葉樹林の研究で国際文化アカデミー賞受賞
- ・2002年 フランス政府機関シャンパーニュ委員会より感謝状授与
- ・2003年 フランス食品振興会ボルドー委員会よりソートルヌ大使に任命